

日本学術会議基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 遺伝学分科会議事要録
(第26期・第1回)

日時：2024年3月15日（金）13：30－15：00

形式：Zoom オンライン会議

出席者：岩崎博史, 小林武彦, 荒木喜美, 飯野雄一, 石川麻乃, 入江直樹, 沖昌也, 片山勉,
颯田葉子, 篠原美紀, 平田たつみ, 山本卓

議事

(1) 委員の確認

当初の名簿にあった委員1名が多忙のため、その他の12名の委員で分科会を構成することが岩崎委員から説明され、承認された。

(2) 役員（委員長、副委員長、幹事）の選出

出席委員の自己紹介の後、委員の互選により颯田葉子委員を委員長に選出した。その後、副委員長として山本卓委員、幹事として入江直樹委員・平田たつみ委員が選出された。

(3) 中等教育における生物学に関する議論

岩崎博史委員から、高校における生物学の選択者の減少や、それに伴う生物教師の採用数減少などについて問題提起があり、意見交換を行なった。今後分析などを行い、問題解決にむけて議論を継続することになった。

(4) 国際遺伝学連合(IGF)との連携について

岩崎博史委員から、学術会議のミッションを踏まえ、この分科会を窓口とした国際連携の可能性について提案があった。これまでに学術会議分科会により国際会議会議を開催した実例などを調べ、次回の会議でさらに議論することとした。

(5) その他

年3回程度の頻度で分科会を開催することにした。次回は6-7月にオンライン開催予定である。また、各委員のメールアドレスを委員間で共有することについて提案され、承認された。